

平成 17 年度第 2 回 ExTEND2005 リスクコミュニケーション推進 検討会 議事要旨

日時：平成 18 年 3 月 29 日（水）10:30 - 12:30

場所：（財）環境情報普及センター会議室

主席委員：北野大（座長）、有田芳子、内山巖雄、小黑一三、川島久徳、吉川肇子、
間正理恵、村田幸雄、山形浩生、脇森裕夫

事務局：上家環境安全課長他

議題：

1. 国際シンポジウムについて
2. 化学物質の内分泌かく乱作用に関するホームページについて
3. 身近な野生生物の観察事業について
4. 刊行出版物について

議事要旨

以下の内容について、資料に沿って事務局より説明・報告を行った後、質疑応答を行った。

- (1) 第 8 回国際シンポジウムの報告の後、第 9 回国際シンポジウムの計画について説明を行った。

- ・今後のシンポジウムでは内分泌かく乱作用問題は外して、化学物質全般に関するシンポジウムにしていくのか。

（環境省）内分泌かく乱作用問題も含め、化学物質全体について、情報提供する場に発展させていきたい。

- ・一般市民を代表するパネリストが、一般市民の質問をきちんと伝えられるかどうか重要である。

（環境省）パネリストに一般の人たちを代表する人をいれなければならないということも含めて、新年度に入って詰めたい。

- ・釧路で開催するということの意味を一般のパネルディスカッションの中に入れられないのか、テーマがあまり集中したものになると何が何だか分からないということになってしまう。

（環境省）地元に着したような方のご参加をいただくべきと考えている。環境省の取組の展示を充実させていきたい。

- ・リスク評価がどのようになっているのかを説明していただけたらいいのかもしれない。
(環境省) 全体的なリスク評価の専門家や、毒性試験は内分泌かく乱作用に焦点を当てた試験を実際にやった方に、説明してもらった方がいいのではと考えている。

(2) ホームページについて現在運用しているものを提示しながら報告を行った。

- ・タイトルは非常に重要。英語のタイトルでは分かりにくい。
- ・研究成果のページの前など、各トピックの前に数行の要約があった方がよい。
- ・リンクを貼る方法を掲載した方がよい。
- ・色々な意見をバランス良く載せることが必要であるが、その判断は誰がするのか。

(環境省) HP掲載のルールについてここで決定していただきたい。

(座長)

本検討会の委員本人、その他関連する ExTEND2005 の事業に関わる委員、委員の推薦者、については原則掲載。

その他の方からの原稿については本検討会委員にメールにて掲載の了承を得る。

A4で1枚の分量と原稿の依頼はするが、いただいた原稿は修正せず原文のまま掲載する。

(3) 平成17年度身近な野生生物の観察事業の成果と、3月25日/26日に開催した、

こどもエコクラブ全国フェスティバルでの事業発表について報告を行った。

- ・関心を持ってもらうこと、継続して行うことが必要である。
- ・ExTEND2005の枠の中で目標をどこに持って行くのか。

(環境省) 当面はどういう風に取り組む場面があるのかを見ていくと同時に、既存の体制の支援を行う。

(4) 当該関連刊行出版物(チビコト)について報告を行った。

- ・(商業誌ではあるが) もっと色々な意見を紹介していくよう努めるべきではなかったか。
- ・(商業誌を活用したことは)一般の人に関心を持ってもらうのには良かったのではないか。
- ・もっとさまざまなメディアを活用すべきである。

(環境省) いろいろなメディアから企画が持ち込まれれば、積極的に対応していきたい。

以上